

市政ニュース

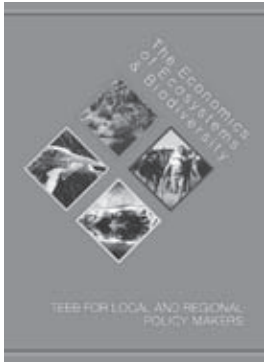
生物多様性に関する国際的な報告書の中で、豊岡の取組みが紹介されました！

「生態系と生物多様性の経済学(TEEB)」報告書の地方自治体編(D2)の概要版が、国連環境計画(UNEP)プロジェクトチームによってまとめられ、公表されました。

その中で、本市の取組みが世界の先進的な事例として紹介されています。

TEEBは、欧州委員会やドイツ政府などの支援を受け、ドイツ銀行理事のパバン・スケデフさんをリーダーに、2007年にプロジェクトを立ち上げ、2008年ドイツでの生物多様性条約第9回締約国会議(CBD/COP9)で中間報告、今年10月の名古屋でのCBD/COP10で最終報告が予定されています。

このプロジェクトでは、生物多様性の損失について、経済学的な観点から世界レベルの研究を進めており、各国の政策決定者や地方自治体、事



▲TEEB報告書

業者、市民に対して、この危機に対する具体的な対処方法を示し、さらには各主体が正しい意思決定や選択ができるよう、世界中の参考となる政策や取組事例、ツールを紹介することなどを狙いとしています。

報告書は、5つの分野(D0)～(D4)で構成されており、D2の概要版はTEEBのホームページで公開されています。
(<http://www.teebweb.org/>)

市は、10月の「CBD/COP10」や「第4回コウノトリ未来・国際かいぎ」などを皮切りに、今後も国内外に積極的に情報発信していきます。

豊岡エキシビション2010に続く豊岡エキスカーシオン2010開催

9月16日と17日の2日間、マスコミなどを対象とした豊岡の取材旅行「豊岡エキスカーシオン」を実施しました。

このエキスカーシオンでは、「コウノトリと生物多様性」「豊岡の匠」観光地の3つの取材プログラムを用意しました。

当日は、7月7日に東京・秋葉原で開催した情報発信イベント「豊岡エキシビション」の出席者を中心とした30人が参加し、「想像以上に良い所」「新たな発見があった」などの

9月16日と17日の2日間、マスコミなどを対象とした豊岡の取材旅行「豊岡エキスカーシオン」を実施しました。

このエキスカーシオンでは、「コウノトリと生物多様性」「豊岡の匠」観光地の3つの取材プログラムを用意しました。

当日は、7月7日に東京・秋葉原で開催した情報発信イベント「豊岡エキシビション」の出席者を中心とした30人が参加し、「想像以上に良い所」「新たな発見があった」などの

声がかかりました。

今後は、参加者が持つ情報媒体などで豊岡市を発信していただき、1人でも多くの方に本市を知っていただくことを期待します。



▲新田小学校の稲刈りを見学

市内全中学生2,600人の力を結集！10月8日(とよおかの日)中学生ボランティア大作戦実施

豊岡市中学校連合生徒会では、10月8日を「とよおかの日」と銘打ち、市内全中学校(11校)の生徒約2,600人がアルミ缶回収を行いました。

実施に当たっては、家庭や地域に協力を呼び掛け、当日各生徒がアルミ缶を学校に持ち寄りました。

各学校から日高西中学校に運搬し、最終的には630キ



▲生徒の呼び掛けで集まったアルミ缶の山

ログラムの缶が集まりました。収益は、福祉用品の購入などに役立てる予定です。

主な市政の動き

- 16日 豊岡エキスカーシオン 2010(17日)
- 17日 「e通勤プロジェクト」推進街頭キャンペーン
- 18日 第19回全国中学新人競漕大会(19日)
- 23日 「国際ペン東京大会 2010」で市長講演
- 25日 田舎暮らし体験in豊岡(26日)
- 27日 中心市街地のまちづくり会議
- 28日 「今後の上下水道料金のあり方」を豊岡市公営企業審議会答申
- 2日 第43回日本女子ソフトボール1部リーグ豊岡大会(3日)
- 4日 山陰海岸ジオパークが世界ジオパークに認定
- 8日 10月8日(とよおかの日)中学生ボランティア大作戦
- 11日 ・とよおかスポーツフェスティバル2010

さまざまな場で豊岡を紹介！

中貝市長が「国際ペン東京大会2010」で講演

9月23日から10月1日までの9日間、東京都などで開催された「国際ペン東京大会2010」の初日、「環境映画祭」の中で、中貝市長が、「コウノトリと共に生きる―豊岡の挑戦」と題し、コウノトリの絶滅と復活の物語、生物多様性と農業、環境経済戦略など、豊岡の取組みについて講演しました。

国際ペン大会は、世界で年1回開催されていますが、社

団法人日本ペンクラブが創立75周年に当たる今年、四半世紀ぶり（前回開催は1984年）に日本で開催されました。今年も国際生物多様性年。

人と生きものとの共生について関心が高まっていることもあり、参加者からは驚きや感心の声が上がりました。本市の取組みを世界に発信する絶好の機会となりました。

■社団法人日本ペンクラブ

1935年11月創立。初代

円山川で熱戦を展開！

9月18日と19日の2日間、円山川城崎漕艇場で、第19回全国中学新人競漕大会が開催されました。

この大会は、ボート競技を通して青少年の健全育成とボートの普及・振興を図ることを目的に、全国の中学校ボート部、ボートクラブ所属の中学1・2年生を対象として開催しているものです。

当日は、19校103クルー

第19回全国中学新人競漕大会開催

が参加し、男女別に舵手つきクオドルプル（4人漕ぎ+舵手）、ダブルスカル（2人漕ぎ）、シングルスカル（1人漕ぎ）の3部門でレースが行われました。

城崎中学校からも3艇が参加し、男子ダブルスカルの一部で見事3位入賞を果たしました。

同日に、兵庫県内高等学校1・2年生による第51回兵庫



▲勢いよくスタートダッシュする参加選手

県高校新人大会ボート競技も併せて開催され、熱戦が繰り広げられました。



▲早稲田大学小野梓記念講堂で講演する中貝市長

会長は島崎藤村さん。第一線で活躍している作家、詩人、外国文学者、評論家などで組織されている。現在の会長は阿刀田高さん。

中貝市長の徒然日記 ③

城崎温泉物語

城崎温泉を訪れる外国人観光客が増えています。宿泊してみると、平成16年に649人であったのが、平成21年には1,965人と、絶対数は小さいのですが、3倍にもなっています。最も多いのがヨーロッパからで591人、次がアメリカからで300人です。

ロンリープラネットという、旅行ガイドブックがあります。英語圏でのシェアが25パーセントという、英語圏最大の旅行ガイドブックです。その日本編の中で温泉が取り上げられていて、日本のベスト温泉12のうちの1つとして城崎温泉が紹介されています。しかも、温泉街としては、城崎が最高であり、温泉旅館としても城崎のN旅館が最高であると書かれているのです。

これを読んで、あるいは口コミで外国人観光客が増え続けているものと思われま。城崎温泉は、木造3階建ての旅館が連なっています。その和風情緒の古い町並みが

人々を引きつけています。しかしこの町は、大正14年の北但大震災で潰れ、しかも火が出て灰になった町です。

そこから城崎の復興が始まりました。まず、防災対策として川を広げ、道路を広げ、しかも地上げをして水害にも備えました。類焼を食い止めるため、町の要所所りに鉄筋コンクリートの建物を「火伏壁」として配置するとい

う、当時としては最先端の防災対策を施しました。その上で、復興のコンセプトは「元に戻す」でした。洋風建築物で再建するという県の提案を、「和風こそが城崎である」として退け、木造3階建ての町並みが再建されたのです。

失われた大切なものを取り戻す。その姿勢が、今日の城崎のまちを支え、外国人観光客の増につながっているのだと思います。ご存じでしたか？

